

KSKP

たびだち つうしん

出

発

通

信

158号

NPO法人 出発のなかまの会



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可
 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

もくじ
目次

ひさいち おし 被災地が教えてくれたこと	2
とうほくりょこう 東北旅行	3
なつやす 夏休みキャンプ2016—福島県いわき市から友達が遊びにくる!—	4
しんにゅうしょくいんしょうかい 新入職員紹介	5
しんぶん どんどん新聞	6
そうかい NPO総会&どんどん総会を終えて	8
こそだ につき スタッフ子育て日記	9
わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ	9
さがみはらししょうがいしゅさつしょうじけん う 相模原市障害者殺傷事件を受けて	10
いてん し 移転のお知らせ	11
かつどう 活動のあと	12

被災地が教えてくれたこと

4月14日前震、16日に本震、ともに震度7を観測する“熊本地震”が発生した。甚大な被害状況が連日報道されていたが、心のどこかで「遠いところで起こった災害」だと感じていた。しかし当会3名のスタッフ・ヘルパーがボランティアとして熊本へ入り、その活動報告を聞くうちに「その場に身を置くことで、私自身が何を感じるのかを知りたい」という好奇心がむくむくと湧き上がってきた。不謹慎だと思いつつも7月8日から11日の4日間、熊本行きを決める。

熊本市街地を歩く。屋根はブルーシートで覆われているところもあるが、商店街やお店が営業し通勤・通学などの人通りがあり、車が走り抜ける街の風景を見ていると震災前の日常に戻っているように感じる。が、すぐにこれは間違いだと気付くのだが。

熊本市にある“被災地障害者センターくまもと”という民間団体にお世話になる。震災直後から避難所などを中心に“SOSチラシ”を手配りし、被災障害者の困り事を丁寧に聞き取り、制度的福祉サービスの枠にはまらない、非定型的な個別支援を行っている。この頃のセンターは熊本市に掛け合い、市内の障害者手帳保持者約4万2千人（5月現在熊本市の人口は約74万人）に向けた市からのお知らせに、チラシを同封し順次郵送している最中だった。そのため新規相談が増え、2本の電話回線に対し1日20～30本のSOSがある。加えて家の片付けや仮設、復興住宅への引っ越しなど、継続的な支援も行っている。全国の障害福祉従事者が集まり支援に入るが、絶対的に足りない状況だ。センターの事務局長からは「初めて知的障がい当事者から、電話でSOSがあった」と報告がある。地震発生から3か月、声を上げられずに困っている人は“確かにそこにいる”ことを思い知らされる。

ボランティア活動は大きく分けて2つある。電話でのSOSに対し避難所やご本人宅などに
出向き、直接お困り事を聞き取る“面談”と、ご本人・ご家族と一緒に片付けや引っ越しなどを行う“実動”である。どちらも支援させてもらい分かったことは“何から手を付けたらよいか”“誰（どこ）に相談したら分かるように教えてくれるのか”に困っていることだ。

メディア報道は日を重ねるごとに減り状況が容易に把握できなくなったが、私が見た益城町は4月16日のまま、時が止まっている。避難所生活や車中泊をせざるを得ない人も減少しているが、ゼロではない。現実を目の当たりにすると声が出なくなったり、いまだに言葉にできないままの。

自立生活センター・どんどんの今年度目標の一つに“東北・くまもとを応援しよう”を掲げている。ここ生野でメンバーやスタッフと一緒に“私たちだからできる支援”を継続しよう。“なかま”がいれば、何でもできるような気になってくるから不思議だ。（アツコ・S）

とうほくりょこう
東北旅行

7月23日～25日、二泊三日で東北へメンバー4名、スタッフ3名の計7名で行ってきました。というのも、今年の3月、南相馬市を訪問したスタッフより7月に南相馬市にて相馬野馬追祭りという祭事が開催されるという話を聞いたからです。武装した人々が馬に乗り、行列を作り市内を歩き回る等、3日間に渡り開催される東北6大祭りの一つです。ポスターを見るだけでも迫力があり、「格好いいな。見たいな。」と、メンバーから声があがり、2日目に開催される本祭りに日程を合わせて東北旅行に行くことが決まりました。

1日目は仙台を観光し、夜は“森のふるさと”という農家民宿を経営している方の姉夫婦宅で、お世話になりました。夕食を、ご夫婦と共にし、お父さんから震災時の状況や現在は何をしているのか等、話を聞く事が出来ました。今回の旅行では、福島復興状況や震災時の話を聞く事も目的の一つだったので良い機会となりました。

2日目、祭り当日。メンバーと一緒に、昼食用のおにぎりを作っていると、お母さんがソ焼きおにぎりを作ってくれました。祭りを観に来る観光客が多く、道路規制をしており、なかなか車を止める事が出来ませんでした。何とか祭りの行列を観る事が出来ました。馬の蹄の音や武装した人達の掛け声が大きく、迫力満点でした！少し雨が降っていた為、合羽を着ての見物となりましたが、とても過ごしやすく楽しむ事が出来ました！メンバーも野馬追Tシャツや野馬追タオル等を購入し、祭りを満喫していました。

3日目は、南三陸町にある「奏海の杜」さんと交流会を行いました。「子ども広場にこま〜る」という障がいを持った子ども達が通所している所へ、大阪らしい物を用意し遊びに行きました！いろんな歌をみんなで一緒に歌って踊って楽しみました！歌が終わった後も、新聞紙で遊んだり、それぞれ、お話ししたり膝に座っていたりと触れ合って楽しく過ごす事が出来ました！

あっという間の二泊三日でしたが、面白く楽しく、充実した旅行となりました！皆さん、お疲れ様でした！

(ワカナ・K)



なつやす 夏休みキャンプ2016—ふくしまけん 福島県いわき市からともだち あそ 友達が遊びにくる！—

ねん がつ か 2016年8月6日～9日まで、ならけんへぐりちやう はたけ きよてん なつやす 奈良県平群町の畑を拠点に夏休みキャンプをしました。

こんかい ふくしまけん し おやこ にん あつ かんさい き 今回は福島県いわき市の親子3人が暑い関西に来てくれました！！

ひがしにほんだいいんさい ひ ねん た げんぱつ えいきやう そと しじゆう あそ こ たち 東日本大震災の日から5年が経ち、“原発の影響で外で自由に遊べない子ども達のための「ふくしまキッズ」という応援プログラム”も終了してしまいました。ニュースでもあまり流れ

なくなり本当に世間から忘れ去られてしまいそうですが、現実には除染廃棄物の黒い袋が行き

場もなく山積みで、キノコや木の実は食べることができません。子ども達の遊ぶ場所もかなり

制限されています。「ふくしまキッズ」プログラムが終わっても、福島の子どものために今年

も個々の任意団体が夏休みにキャンプを企画し、6月に郡山市といわき市で説明会がありました

た。キャンプの大きな目的は“保養”で、私自身にはそれをどのように理解し、実行すれば

よいのか迷いがありました。2日間の来場者数は300組以上。“大事な子どもの大切な夏休み

をどのように過ごすか”と親御さんの真剣な姿は、私の心を整理してくれました。「キャン

プをしよう！！特別な事をするでもなく、夏休みだから一緒にキャンプをしよう！」。いわき市

の説明会で、最後に来られたSさんは障がいのある2人の男の子のお母さんでした。これが

出会いで連絡を取り、その後スタッフ2人が改めていわき市へ行き、話をし、お母さんは

キャンプに参加するという大きな決断をしてくださいました。(よく動く子ども2人をお母さん

ひとりがいしゅつするのは、まったく考えられない事でした)

がつ か 8月6日、いわき市の泉駅までスタッフが迎えに行くと、初めて会うCくん(3年生)とA

くん(年長)が抱きついてくれ、すぐに友達になれたそうです。JR・新幹線と乗り継いで新

おおさか しゆくはくち ならけんかんまきちやう したく いどう ま ねこ 大阪へ。宿泊地でもある奈良県上牧町のスタッフの自宅へ移動しました。待ってくれていた猫

を見るなり、「ネコのめは、ひかるかな？」と興味津々。お母さんが話してくれた奈良の情報

をしっかりと頭の中に入れてくれていました。2日目は、近くの町営プールへ。大人4人がぐ

ったりするほどの元気さで、スライダーを何度も滑りプールの施設も探検してきたそうです。

ゆうがた へぐり はたけ こ おとな だいしゅうごう 夕方は平群の畑でBBQ！子どもも大人も大集合してかなり

のにぎやかさでした。むし お 追っかけ、たけ なに つく さきぶね つく 虫を追っかけ、竹で何かを作り、笹船を作

って流し、食べるのも忘れて夢中で遊び、家に帰ってから「お腹

すいた～」と言った子が何人かいたみたいです。最後に花火をし

て、夏の夜を満喫しました。この夜から2日間、子ども達はスタ

ッフと一緒に寝る事になりました。ケロツとしてすぐに寝付く



子どもとは反対に、お母さんは寂しかったそうですヨ（お母さんの初めての体験?!）。3日目は、大阪市生野へ。子どもは流しそうめん・ピザ作り・スイカ割りの“子どもクラブ”企画へ参加。お母さんはグループホームと作業所の見学へ。メンバーさんの親御さんをお願いして、先輩お母さんとしてお話しして頂きました。お母さんは、「あっという間に時間が過ぎた！」ととても楽しそうでした。先輩方、ありがとうございました！4日目、新大阪からいわき市泉へ。奈良での4日間は笑顔と共に無事に終了。たくさんの方々いろいろな形で協力頂きました。本当にありがとうございました！！

この出会いをきっかけに人と繋がり、子ども時代のとても大切であっという間に過ぎていく時間を一緒に過ごしていきたいと思っています。来年は福島からSさんの友達や新たに知り合った人たちも一緒に参加してくれたら嬉しいな。

（カズエ・F）

新入職員紹介

6月から出発のなかまの会でお世話になっています、湯浅洋一です。現在はどんぐり作業所に所属しています。

出発のなかまの会のことはスタッフMさんの紹介で知りました。メンバーさんとの花見や旅行など楽しい活動について以前から話を聞いていたので、自分もメンバーさんとたくさん活動ができることに今からワクワクしています。

趣味はカラオケで、一人でも歌いにいくほど好きです。自分で歌うのも人の歌を聴くのも好きなので、メンバーさんとも是非に歌いに行けたらと思っています。絵を描くことも好きです。描くのが遅く非常に時間がかかるのが難点ですが、じっくり描いていると時間を忘れて没頭してしまいます。

メンバーさんや先輩スタッフの皆さんと共に楽しく活動していけるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくおねがいします！



©とんとん新聞No.135から抜粋して掲載しています

とんとん新聞No.135



発行日 2016年 6月 14日
発行者 自立生活センター・とんとん
おおきかしいくのくたじま
大阪市生野区田島1-10-30
tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749

あいえるびーれんあいへんとくしゅう
ILP 恋愛編特集～

メンバーから「結婚したいけど、どうしたらいいんやろ？」という声が挙がりました。人を好きになるって、どんな気持ち？結婚ってどうすればできるの？みんなで学ぶためにILP恋愛編を開催しました。



第1回 自己アピール、かっこいい&かわいい写真を撮ろう！

日時: 2015年12月3日(木) 場所: すきっぷ会議室

第1回は、みんなで自己アピールをしました。第1回が終わった後、誰とデートに行きたいか、みんなにこっそり聞いて、カップルができました。



第2回 デートを考えよう！！どんなデートをしたい？どこに行きたい？

日時: 2016年1月7日(木) 場所: すきっぷ会議室

第2回は、デートの計画です。I.Sさんは、カップルに決まったK.Yさんを「運命の人や」と言って真っ赤な顔で握手をしました。I.Sさんは、から揚げ好きのK.Yさんのため、美味しいから揚げ屋をスマホで必死に調べました。Y.Aさんのお相手のI.Nさんはラーメンが大好きです。Y.Aさんに「おいしいラーメン屋、知ってますか？」と聞くと「知ってる」と力強く答えられました。そこでラーメンデートをすることに決めました。

Kさんは、悩みながら行きたい場所を“むし”と書きました。お相手のY.Hさんも虫が好きです。一気に盛り上がり、昆虫館に行こうと決めかけました。ところが最後に“すし・ハンバーガー”と書き直したのです。どうやら“すし”を間違えて“むし”と書いたようです。急いで決め直し、水族館デートとなりました。



だい かい
第3回 デートに出かけよう!

にちじ ねん がつ にち ど ぼしよ かいゆうかん
日時:2016年1月16日(土) 場所:海遊館、カラオケ、ひらかたパーク

ついにデートの日となりました。Kさんは、ジャケットにネクタイ姿でY.Hさんを迎えに行きました。Y.Hさんは、かわいいスカートをはいて、ネックレスもつけていました。おしゃれな姿で、仲良く出発です。道中は2人とも笑顔です。Kさんは、実は水槽が怖いそうです。でも、水槽を眺めるY.Hさんの後ろに立って一緒に魚を眺めていました。昼食でも、Kさんが優しく「食べや」とY.Hさんに声をかけていました。

K.SさんとMさんは2人だけで海遊館です。調べた昼食のお店がよくわからなかったり、海遊館の行き方がわからなかったりして、何回か支援者に電話で相談しながら出かけました。緊張していたMさんは電車の中で寝ていました。一緒におしゃべりしたかったK.Sさんは後で怒っていました。

デートは楽しいけど難しいです。



だい かい かくはく
第4回 告白しよう!

にちじ ねん がつ にち きん ぼしよ かいぎしつ
日時:2016年2月12日(金) 場所:すきっぷ会議室

ILP恋愛編も最終回となりました。第4回は、「どうやって言うていいかわからへん」というリーダーからの提案で、告白のロールプレイをして、練習してみることにになりました。

ロールプレイの中で、K.Sさんは、Mさんに告白しようと思いました。ところが、Mさんから、なんと「結婚しよう」と逆告白されたのです。K.Sさんは大照れでした。

最後にサプライズで、バレンタインチョコのプレゼントがありました。T.Rさんは、前日に準備した手作りチョコをT.Kさんに贈りました。I.Nさんも一緒にデートをしたY.Aさんではなく、T.Rさんにチョコを渡しました。Y.Aさんはショックを受けたようで、悲しそうな表情になっていました。終了後の打ち上げでも、ずっとT.Kさんの手を握っていました。自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちをわかるのは難しいです。

うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあります。でも、みんな、ドキドキ、ワクワク、うきうきしたILPになりました。これからも、どんどん恋愛しよう!!!

NPO総会&どんだん総会を終えて

2016年5月28日(土)に KCC会館5階ホール(生野区)にて、第17回定時総会をおこないました。当日は107名の出席(うち委任状出席者は22名)で、定款に定める総会として進めることができました。

今回は、たくさんの写真をスクリーンに映して事業報告や事業計画の説明をおこないました。写真を見るといろいろ思い出して、「あんなことやったね」と1年間を振り返ることができ、「またこんなことしたい!」と2016年度について話すことができました。説明するスタッフもいろいろな人の活動の様子を伝えたいという思いから、つつい熱が入り、時間がおしてしまうほどでした。続いて、決算報告や予算についての説明、役員の見任・辞任の報告をおこない、承認されました。事業報告では、作業所・すきっぷ・事務局の移転のこと、グループホームに新たな入居者を迎えたこと、スプリンクラー設置問題などについての報告がありました。2016年度は、新しい作業所が、メンバーが安心して心地よく過ごせる居場所となり、「誰もが住みやすい、排除されない社会づくり」をすすめていくための拠点になるように、展開していくこと、また、認定NPO法人として、社会が抱える“困難”だと思われるさまざまな問題に積極的に関わり、地域の方々と連携して、活動を進めていくことが確認されました。

後半は、自立生活センター・どんだんの総会です。今回も、メンバーたちは、報告や発表の練習を何度もおこない総会に挑みました。2015年度も、たくさんのメンバーが、講演会や学校の授業で、自分の暮らしや趣味・仕事の話をしました。交渉では、事前に学習会をおこない、自分たちの思いを届けようとがんばりました。ピープルファースト兵庫大会にも、たくさんのメンバーが参加し、自分のことを発表したり、他地域のなかまたちと交流を深めました。2016年度は、『交渉がんばろう!!』『みんなで力を合わせてがんばろう!!』『くまもと』と『東北』を応援しよう!!の3つの目標が決まりました。最後は、恒例の「どんだんの歌」です。メンバーのピアノ伴奏に合わせ、参加者全員の大合唱で、総会は幕を閉じました。



(ヨシミ.)

こそだ にっき スタッフ子育て日記

1月に待ち望んでいた第二子となる長女が誕生しました。上の子から6年と間が空いていたので、お風呂や着替え、おむつ替えなど忘れていることも多く、泣きつかれ戸惑う毎日です。それでも腕の中ですやすやと眠る顔は他では得られない幸せです。

新しい家族が増え、生活が変わりましたが、やはり一番生活が変わったのは長男でしょう。お母さんのお腹が大きくなるにつれ、お兄ちゃんになる期待や不安を抱えていたようですが、いざお兄ちゃんになると、どうしても親や周りも赤ちゃん中心になり、自分への関心が減ったと感じ、いじけています。

まじめな性格なのか、親に気を使っているのか、できていたことをしなくなることはあまりないのですが、ひとつひとつの行動に時間がかかるようにはなりました。

ある日、幼稚園の卒園に向けて先生への手紙を書くことがあり、何時間かかっても書きだせず、お母さんに怒られていました。親子共に不機嫌になっていると、急に「お母さんになら手紙書けるわ」と、メモ用紙に書きだしました。その手紙は『おかあさん だいすき』と短いながらもとても思いのこもった親を幸せにしてくれる手紙でした。

二人に平等ということは難しいことですが、限られた中でもしっかり愛情を伝えていこうと思い直した出来事でした。 (シンペイ・H)

わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ

以前に「豆腐をください」というメモを持って、豆腐屋へ一人で買いに行っていたTさん。グループホームが移転した後は、一人で行くには少し遠く、徐々に豆腐屋さんへ行くことが無くなってきていました。

久しぶりに散歩のついでに伺うことにしました。Tさんの足どりも徐々に軽やかになり、店前で明るい表情であいさつ。豆腐屋さんは「あら久しぶりやなあ。Tさん、元気にしotta?」とびっくり顔から笑顔に。

地域の方がTさんのことを覚えてくれている。何気ないやりとりでしたが、Tさんがこの町で暮らしている…ということを実感した場面でした。

地域の店へ行く、人に会う。地域の行事に参加するなど当たり前のことかもしれませんが、私たちは当たり前のことをこれからも大事にしていきたいと思いました。 (サトシ・M)

さがみはらししょうがいしゃさっしょうじけん う 相模原市障害者殺傷事件を受けて

2016年7月26日、相模原市の障害者施設で障害者大量殺傷事件が起きてしまいました。お亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表します。また、負傷された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の事件は、社会的閉塞感が強まる中で起きた、社会的マイノリティ（少数者）に対するヘイトクライム（憎悪犯罪）です。このような事件が日本で起こってしまったことに対し、強い衝撃を受けたと同時に強い憤りを禁じ得ません。

私たちは、生野区でさまざまな社会課題（高齢者、障害者、子ども、在日外国人、女性にかかわる福祉と人権、貧困、孤立、教育、空家問題等）に取り組んでいるグループと協同し、つながりの中で“共に生きる”地域社会づくりを実現するために活動をしています。すべての社会的マイノリティを排除せず、誰もが暮らしやすい共生社会をつくりだすには、これまでの障害者・高齢者施策の中で進んでしまった「隔離・収容」から「誰もが排除されないインクルーシブな社会づくり」への明確な転換と対策が、今、必要とされています。

今後、この事件については全容や背景の解明が最優先におこなわれる必要がありますが、現在、実態の解明が不十分な状態にもかかわらず、国は再発防止に向けての「施設の防犯対策」や「措置入院のあり方の見直し」だけを拙速にすすめています。これでは、障害者の「隔離」や精神障害者への偏見が助長されることはあっても、共生社会の実現はあり得ません。

報道によると、被疑者は「障害者なんていなくなればいい」と語り、危険な思想を持っていたと思われませんが、そもそも措置入院の要件である精神障害があったのかどうかについては検証が必要です。犯罪防止の役割を精神医療に担わせ、措置入院の長期化や退院後の管理強化がおこなわれることは、ただでさえ長期の「社会的入院」を余儀なくされている障害者への人権侵害を引き起こすこととなります。

また、今回の事件の背景には、重度の知的障害者や重複障害者の（収容施設からの）地域移行が遅々として進んでいない状況もあると思われれます。施設の管理・防犯体制を見直すだけでなく、地域生活を望むすべての障害者が当たり前前に地域で暮らせるよう、抜本的な地域移行策を打ち出し、さまざまな地域資源と連携を深めるシステムづくりを進めるべきです。

私たちも今回の事件を受け、これまでの活動を見直し、すべての人の人権が守られ、排除されることのない社会づくりへ向けた活動を、当事者と共により一層すすめていくことを決意しています。

(ミサオ、K)

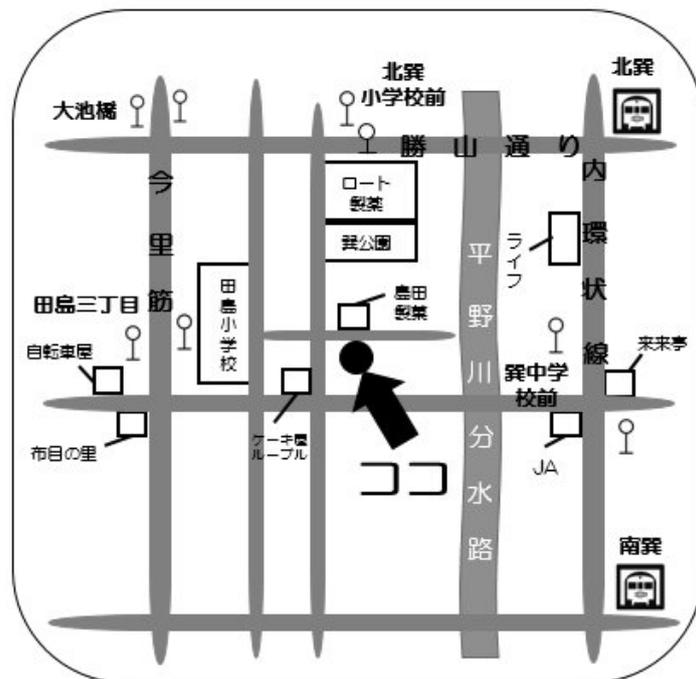
移転のお知らせ

昨年度より新拠点の建築をすすめてまいりましたが、このたび2016年9月12日に、法人事務局、ヘルパー派遣事業所（『ヘルプセンター・すきっぷ』）を下記住所に移転することになりました。

また、生活介護（『どんぐり作業所』）も10月1日に下記住所に移転し、名称を『はたらく・つながる「ととりの木」』に変更いたします。「ととり（トトリ）」は韓国語で「どんぐり」という意味です。どんぐりの実が大地（生野）に根を張ってやがて木となり、色とりどりの葉が芽吹き、大小さまざまな実をつけ、生き物たちが集まり、いずれ実や葉が落ちて土に還り、新たな生命の糧になり、大きな木へと成長していくように、新しい場所をよりどころとし、みんなが生き生きとはたらき、地域で当たり前につながっていくことができるように、という願いをこめて名づけました。

新拠点に移りましても「だれもが住みやすいまちづくり」を目指して、地域のさまざまな方々と共に活動をすすめていく所存です。今後とも一層のご支援ご教示を賜りますようお願いいたします。

新住所 〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目5-4



活動のあと

4/22 松野農園イベント【食事会】 地域共生ケア生野推進委員会役員会 障大連運営委員会	6/30 内部研修(発達障害勉強会) Eプロジェクト会議(どんどん)
4/24 グッドスタート会議	7/1 グループホームスタッフ全体会議/作業所スタッフ勉強会
4/25 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	7/2 ILP(自立生活プログラム)講座(掃除・片付け編)②
4/26 新作業所・派遣事務所建築工事工程会議⑥ 作業所ミーティング	7/5 松野農園イベント【フラワーアレンジメント】
4/27 二者会議/生野区学童期の子ども支援連絡会 生野区NPO連絡会立ち上げ準備会	7/6 松野農園イベント【音楽会】/新築工事工程会議 内部研修(新人職員研修①)
5/6 グループホームスタッフ全体会議	7/7 生活保護についての話(生野区役所) 食と農のプロジェクトをすすめる会幹事会
5/6~9 熊本県被災地訪問	7/7 執行委員会/Eプロジェクト会議(どんどん) 生野区学童期の子ども支援連絡会
5/9 二者会議	7/8~11 熊本県被災地訪問
5/10 執行委員会/作業所ミーティング 福島訪問報告会/新築工事工程会議	7/12 対府交渉総決起集会・デモ行進
5/11 生野区グループホーム連絡会/出発通信発送	7/13 作業所ミーティング/生野区グループホーム連絡会世話人会
5/13 理事会/作業所スタッフ勉強会	7/14 通信委員会
5/14 ちまたのコンサート(Kさんダンス出演)	ヘルパー・どんどん・カモヘン・プロジェクト(どんどん)
5/15 みらくるクラブ【木登り】(住之江公園)	7/15 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン
5/17 ヘルパー・どんどん・カモヘン・プロジェクト(どんどん)	7/16 ILP(自立生活プログラム)講座(掃除・片付け編)③
5/19 Eプロジェクト会議(どんどん) 内部研修(発達障害勉強会)	7/19 地域共生型福祉サービス開設セミナー①
生野区学童期の子ども支援連絡会	7/19 内部研修(新人職員研修②)
5/19~21 Nさん東京旅行	7/20 生野区NPO連絡会準備会
5/20 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン	7/21 研修(てんかん基礎講座)
5/23 事業所ネットワーク・自立支援部会合同部会	生野区自立支援訪問系事業者連絡会主催講演会 「障害者差別解消法と私たち」
5/24 新築工事工程会議	7/22 和楽吉荘・かのんケア会議/地域共生ケア生野推進委員会 障大連運営委員会
5/25 生野区NPO連絡会準備会 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	7/23 地域共生型福祉サービス開設セミナー②
5/26 内部研修(てんかん発作①)	7/23~24 Tさん名古屋旅行
地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスエテ)	7/23~25 東北旅行
5/27 地域共生ケア生野推進委員会	7/24 みらくるクラブ【高取山キャンプ事前活動】(金剛山)
5/28 NPO総会・どんどん総会	7/25 新築工事工程会議
5/30 見学受け入れ(びよびよ会)	7/26 どんどん学習会(対府交渉)
5/31 作業所ミーティング/みらくるクラブ高取山キャンプ会議 ヘルパー・どんどん・カモヘン・プロジェクト(どんどん)	7/27 内部研修(発達障害勉強会)
6/1 新築工事工程会議	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)
6/2 Eプロジェクト会議(どんどん)	7/28 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスエテ)
6/3 グループホームスタッフ全体会議	7/30 生野区NPO連絡会設立総会
6/4~19 絵画展(奈良・アピタ西大和店)へ作品出展	8/1 大阪府オールラウンド交渉①/生野「子育て」社会化研究会
6/7 内部研修(食中毒予防①)/新築工事工程会議	8/2 生活介護移転事前協議
6/8 生野区学童期の子ども支援連絡会	8/4 執行委員会/松野農園イベント【作業所流しそうめん】
6/9 執行委員会/成年後見推進委員会 ヘルパー・どんどん・カモヘン・プロジェクト(どんどん)	8/5 大阪府オールラウンド交渉② グループホームスタッフ全体会議
6/10 作業所スタッフ勉強会	8/6~9 だっこんび奈良【夏休みキャンプ】
6/11 ILP(自立生活プログラム)講座(掃除・片付け編)①	8/7 みらくるクラブ【高取山キャンプ準備会】
6/13 生野区グループホーム連絡会主催講演会 「障害者差別解消法」	8/9 新作業所説明会/内部研修(てんかん発作②)
6/14 生野区子育て支援会議	8/10 生野区グループホーム連絡会
6/15 内部研修(食中毒予防②)/内部研修(AED) 熊本訪問報告会/集団指導(児童)	食と農のプロジェクトをすすめる会幹事会
6/16 Eプロジェクト会議(どんどん)	8/17 きらら・らいすケア会議/作業所ミーティング
6/17 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン	8/18 建築完了検査
6/19 みらくるクラブ【ハイキング】(生駒山) 絵画展アーティストトーク	8/18~20 妙高高原旅行
6/21 新築工事工程会議/とんぼまる・桃栗館ケア会議 作業所ミーティング ランチタイム交流会(生野みんなの家と合同企画)	8/19 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン
6/22 Nさん東京旅行報告会/生野区NPO連絡会準備会 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	8/22 松野農園イベント【子どもクラブ】/東北旅行報告会 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議
6/23 ヘルパー・どんどん・カモヘン・プロジェクト(どんどん)	内部研修(防災①)/内部研修(発達障害勉強会)
6/24 地域共生ケア生野推進委員会役員会	生野区NPO連絡会
6/27 生野区自立支援協議会	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)
6/28 成年後見推進委員会/生野子どもの暮らし調査実行委員会	8/24 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスエテ) 新作業所・派遣事務所引渡し/内部研修(防災②) 作業所スタッフ勉強会/障大連運営委員会
	9/5 執行委員会
	9/9 新作業所・派遣事務所内覧会1日目、交流会
	9/10 新作業所・派遣事務所内覧会2日目
	9/11 派遣事業所引越し1日目
	9/12 派遣事業所引越し2日目

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二一 東興ビル4階

頒価百円

編集後記

元ヘルパーさんが2年ぶりにグループホームに遊びに来てくれた。少し作業所に寄ると、メンバーさんも覚えていたようで名前を呼んでニコッと(ニヤッと?)笑った。記事にならない小事を編集後記につっこんでお茶を濁す大作戦です。(コウハイ・O)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011

大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内

TEL 06-6758-6641

FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080

(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp

ホームページ http://www.tabidati.jp/

700部